

ネットワークボード

ぱれっとのヒップホップダンスチーム、「サンシャインダンス」が毎年出演している大きなイベント、「ドレミファダンスコンサート」が今年も開催されます。東京・千駄ヶ谷の東京体育館メインアリーナを舞台に、創作ダンス・バレエ・フラダンス・チアダンス・和太鼓・ゴスペル・合唱など様々な団体が歌と踊りのパフォーマンスを披露します。『一般の来場者・出演者・障害者の皆さんが同じ目線で楽しめる場所で開催をしています。会場全体が一体となり、そこにいる全ての人々から笑顔が溢れ、一生の思い出となるような瞬間を楽しんで頂いています。』（主催者ホームページより）皆様お誘い合わせの上、東京体育館へGO！（編集部）



第27回
ドレミファダンス
コンサート
令和7年5月11日(日)
東京体育館メインアリーナ
開場 12:30 開始 13:00
入場無料

サンシャインダンスの出演
時間は未定です。詳しくは
たまり場ぱれっと武井 (03-
5766-7304) までお問い合わせ
ください。

【お申込み】

※下記のフォームまたはQRコードにアクセス

<https://forms.gle/B9xF1ri1QhUuJ1j18>

ドレミファダンスコンサート2025

検索



編集後記



先日、「知的障害者の自立生活 これまでとこれから」というオンラインシンポジウムを視聴しました。縁あって約1年ほど前から、このシンポジウムを主催した「知的障害のある人の自立生活について考える会」の運営委員として参加しているのですが、その企画会議の場で現場の最前線で活躍されている全国の皆様の、本当に中身の濃い議論に圧倒されている自分を痛感しています。私はぱれっとに入職して今年で35年になりますが、そのうちの約3分の2をソーシャルビジネスを展開する「カレー屋の店長」として、障がいのある人たちや外国人たちと奮闘してきました。その間、障がいのある人たちの権利擁護や法律の制定など時代は大きく変わったわけですが、就労と暮らしという、分野が違っていたということはあるにせよ、今更ながらにその方面の勉強が足りず、知識も知恵も追いついていないと強く思います。もっとも、知らないことを知る楽しさと新鮮な驚きに包まれているという見方も出来ますが。

一方、冒頭のシンポジウムで登壇者の方が語った「バリアフリーになったから障がい者が街に出られるようになったわけではなく、あらゆる差別を受けながらも街に出て戦い、運動を展開してきた結果が今なのです」という言葉には、従来の価値観に捉われず、様々な価値を創造してきたぱれっとの歴史を重ねている自分がいました。奇しくも特集では「ぱれっとが創る未来とその現在地」を掲載しており、現在様々な課題とともに難題に直面していることもまた事実です。次世代に向け、この困難を乗り越えた先にどんな景色を創るのか。挑戦を続けたいと思います。（みなみやま）